

横須賀乳幼児保護会 平成27年度事業報告

法人は新しい組織になり、ほぼ2年経過した。昨年度の活動では、理事会・サポート委員会を数多く開催し、活発な議論がなされ、今後の発展のための足掛かりになったのではと考える。

① 理念

	内容	平成27年度
利益性	保育の充実 利用者と職員の関係強化 人気のある園に 仕事に生きがいを持ち、社会に貢献している意識を持つ	試行錯誤の年であったが、各園日ごとに安定し目標を目指して頑張っている。
生産性	仕事の質の向上 職員の教育	園長を中心として質の向上をめざし活動している。
社会性	社会との連携	近隣地域との一体を目指して。

② サービス理念

	内容	平成27年度
サービス理念	基本的マニュアル作り チェックリスト	現在あるマニュアルの整理

③ 外部環境

	内容	平成27年度
外部環境	社会からの高い評価 日々の保育を大切に保護者から地域へ広まっていく	実習 ボランティアの受け入れ態勢の見直し。

④ 内部環境

	内容	平成27年度
コンプライアンス	個人情報保護	利用者の個人情報保護を職員に徹底する。
マネジメント	職員の能力 適正の把握	より良い方法を検討している。

⑤ 適正配置

	内容	平成27年度
適正配置	職場の適正によって配置	十分な会議で決定

⑥ 人材育成

	内容	平成27年度
人材育成	人材育成	研修への参加

⑦ 給与決定

	内容	平成27年度
給与決定	年功序列ではない	検討中

⑧ 苦情解決

	内容	平成27年度
苦情解決	苦情について	問題に対しては保護者と園長を中心に十分な話し合いを行う。

⑨ 利用者アンケート

	内容	平成27年度
アンケート	県社協のアンケート	検討中

2015年度 小光子愛育園 事業報告

1. 名称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 小光子愛育園

2. 所在地 横須賀市佐野町3-15 046-853-1760

3. 定員 99名

4. 入園状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	5	5	20	24	21	22	97
5月	5	5	19	24	21	22	96
6月	5	6	19	24	21	22	97
7月	5	6	18	24	20	22	95
8月	5	6	18	24	20	22	95
9月	5	6	18	24	20	22	95
10月	5	5	17	24	20	22	93
11月	5	5	18	23	19	22	92
12月	5	6	18	23	19	22	93
1月	5	6	18	23	19	22	93
2月	5	6	18	23	19	22	93
3月	5	6	18	22	19	21	91
合計	60	68	219	282	238	263	1130

※保育士配置、最低基準

< 乳児 >	概ね3人に1人以上
< 満1歳以上満3歳未満 >	概ね6人に1人以上
< 満3歳以上満4歳未満 >	概ね20人に1人以上
< 満4歳以上 >	概ね30人に1人以上

【卒園生21名 入学先小学校】

鶴久保小学校	5名	池上小学校	2名
豊島小学校	1名	大楠小学校	1名
衣笠小学校	3名	森崎小学校	1名
田戸小学校	1名	諏訪小学校	3名
公郷小学校	1名	野比東小学校	1名
城北小学校	1名		
(市外 1名)			

5. 職員構成

職名	園長	副主任	保育士	調理員	非常勤職員			合計
					保育士	調理員	嘱託医	
職員数	1	2	9	2	2	1	2	19

6. 保育目標

動(のびのびと体を動かして遊ぶ)と静(身近な環境や自然にふれ心情を高める)の調和のとれた発達を促し進めました。

情緒の安定、個別の配慮をし、基本的な生活習慣の自立を目指しました。

健全で安全な環境をつくり、1人ひとりの欲求を十分に満たし、快適に生活ができるように配慮しました。

7. 保育 ～1年を振り返って～

(1) 5歳児 まつぐみ

新しい取り組みとして、交通安全教室やヒッポファミリークラブを行った。鶴久保小学校での交流体験も就学に向学にむけ体験できたことが自信につながったと思う。

じっくりと時間をかけてお店やさんごっこの準備、その過程では友達への思いやりもみられた。

好き嫌いの多いクラスではあったが、おにぎり遠足・野菜の下ごしらえ・炊き込みご飯を皆で作るなど、食への興味に結びついた。

2階の園庭改修により今までできなかった大縄とびやフープ等が楽しめ、運動遊びが広がった。

最年長のまつぐみという自覚も行事の姿に表れていた。

(2) 4歳児 ほしぐみ

4月・5月は落ち着く時間を作ることをまず第一に考え、折り紙に取り組んだ。こどもたちは、保育士の声や動きを見て、一つ一つ折れるものが増えることで、楽しさや挑戦する気持ちが出てきて、気の合う友達と本を参考にして、完成させることもできるようになった。

四季の行事も、得意の折り紙にすることで一年の成長も感じられた。

5歳児と合同で、手話をいれた歌や、合奏も発表したり、行事への取り組みは職員間の話し合いを大切に進めた。進めたことで意識も少しずつ変わったと思う。

(3) 3歳児 ばらぐみ

新入園児も、年間で3人。昨年同様にぎやかなそして元気いっぱいのクラス。

幼児クラスになって、お弁当・歯磨き・はさみの製作・ワークすべてのことがはじめての経験。

一人遊びも集団あそびへと変化し、追いかけてもごっこ遊びも楽しむ中で小さなめごとが増えた。

泣いて訴えることから徐々に自分たちで解決してみようという気持ちも感じとられ、成長をみることができた行事に参加することの意識が強く、練習も本番も楽しんでくれた。

(4) 2歳児 いちごぐみ

人数が増える学年で、毎日の外遊びも元気一杯。砂遊びは、きらきら星から進級してきた園児には最高の落ち着く場でした。

会話が楽しくて、ちいさなトラブルも発生。ルール性のある遊びも取り入れながらの一年でした。

散歩も大好き、園の周りから近くの公園にも出かけ、異年齢のふれあいも多くの経験になりました。

(5) 1歳児 ちゅうりっぷぐみ

園庭・外も大好き。年上のお兄さんお姉さんの事もよく見て模倣したりいろいろなことを吸収していると感じます。毎日でした。

0歳児と一緒に水遊びをしたり、クラスだけでのんびり過ごす事も大切にしながらひとりひとりの成長を見届けながら楽しく過ごしました。

(6) 0歳児 ひよこぐみ

園庭あそびの前にまず保育室まえの小さなテラスで慣らし、保育者との関わりを深めていきました。

玩具も広げミニ水遊びも楽しみました。

散歩も大好き季節を感じてどんぐり拾い、たくさん動いていっぱい食べてぐっすりお昼寝。生活リズムも少しずつ形になってゆきました。

身振り手振りのミュージカル、初めての舞台に緊張気味でしたが、保育の中でもダンスを楽しんでいます

8. 行事

(1)年間

行事	日時	場所
入園・進級を祝う会	平成27年 4月1日	小光子愛育園保育室
保育参観	4月25日	小光子愛育園保育室
	7月18日	
	12月12日	
	1月28日	
スポーツフェスティバル 0～5歳児	9月26日	鶴久保小学校グラウンド
	〃	
防災教室	〃 11月26日	小光子愛育園保育室
音楽会	〃 12月12日	小光子愛育園保育室
お泊り保育(年長児)	〃 11月27日・28日	三浦ふれあいの村
ミュージカル・フェスティバル	平成28年 2月28日	はまゆう会館
お別れ会	3月24日	小光子愛育園保育室
卒園式	〃 3月26日	小光子愛育園保育室

(2)月間

身体測定	毎月1回
避難訓練	毎月1回
お誕生日会	毎月1回
お話し会	年4回
内科検診	年2回(5月・11月)
ぎょう虫検査	年1回(5月)
歯科検診	年1回(6月)
嗜好調査	毎月1回
職員会議	毎月1回

9.研修参加一覧表(平成27年度)

園長	山本朝子	関東ブロック研修会7/2 労働災害防止講習会 7/31 発達が気になる子の理解と支援とコツ 子供の視力検査でわかること 12/10	静岡市 横須賀市合同庁舎 総合福祉会館 はぐくみ館5階
副主任	石川清恵	幼児期の家庭教育の援助 10/6	横浜女子短期大学
副主任	後藤亜美	子育て支援専門講座 10/2	横浜女子短期大学
保育士	高尾彩乃	子供たちの健康を守るために 6/25	横須賀市厚生会館
〃	松山麻実	子供の生活リズムの乱れの実態と改善のための方策 7/6	藤沢商工会議所
〃	江田歩美芳	横須賀市保育会定例委員会・市研究	27年度常任委員
〃	下重晴菜	集団生活における乳幼児アレルギー対応 9/15 こどもの心に寄り添う保育 11/21	横須賀市役所(正庁 県社会福祉会館
調理員	李 妙嫦	保育園給食調理技術講習会 2/24	田浦コミュニテイ
〃	モリス幸子	集団生活における乳幼児アレルギー対応 9/15	横須賀市役所(正庁

10. 実習生及びボランティアの受け入れ状況

(1)実習生

平成27年	10月20日～10月22日	横浜こども専門学校	1名
	10月26日～11月7日	横浜こども専門学校	1名
	10月7日～10月19日	横浜こども専門学校	1名
平成28年	1月12日～2月19日	神奈川衛生専門学校	13名

(2)緑ヶ丘高校保育実習

平成27年	7月27日～8月1日	3名	8月17日～8月22日	4名
	8月3日～8月8日	6名		
	8月10日～8月15日	5名		

(3)中学生職場体験

追浜中学校	3名	不入斗中学校	3名	公郷中学校	5名	長沢中学校	2名
久里浜中学校	4名	衣笠中学校	5名				

27年度 小光子愛育園分園きらきら星 事業報告書

1. 名 称 小光子愛育園分園 きらきら星
2. 所在地 横須賀市日の出町1 - 6 フォレースよこすか3F・2F
3. 定 員 0歳児 9名 1歳児 12名
4. 入園状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0歳児	4	4	4	5	5	6	4	4	4
1歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13
合計	17	17	17	18	18	19	17	17	17

1月	2月	3月	合計
5	5	5	55
13	12	12	154
18	17	17	209

5. 職員構成

職員	園長 (※)	主任	保育士	調理員	非常勤職員			合計
					保育士	調理員	嘱託医	
職員数	1	1	7	1	1	2	2	15

(※) 本園と分園を兼任

6. 保育目標

- (1) 個々の生命の維持と情緒の安定を図る
- (2) 基本的な生活習慣を身に付けられるようにする
- (3) 生活や遊びの中で物事をよく見つめ、考え、探究する心を育てる
- (4) 心身ともに健康で思いやりのある子を育てる

以上のことを基本方針として27年度をスタートさせた。

保護者の方と連絡を密に取り合い子育ての不安などにも耳を傾けながら、共に子どもの成長を見守っていくことの出来た一年だった。

子どものちょっとした変化にも気づき、気持ちに寄り添うことで安心して自分を出すことができ、その中で自我や自分でやってみようという気持ちが芽生えていった。また、友達同士で過ごす中で他児の事を気にかけて、思う気持ちが育ち“友達と一緒に”を心から楽しみながら、周りの様々なことへ興味をもち挑戦していった。

7. 保育～1年を振り返って～

<0歳児 ひよこ組>

4名でスタートしたひよこ組。人見知りも少なく比較的早くに園生活に慣れることができた。途中での入退園で園児の入れ替わりがあったが、途中入園の子ども達もすぐに慣れ、他児の輪に入り遊ぶことが出来た。外遊びや製作など色々なことに挑戦し時期にあった持ち帰り製作など多く取り入れ子ども達自身も楽しみながら行い、お迎えの時に保護者に嬉しそうに渡している姿が印象的だった。また、5名という少人数だったこともあり個々の性格や月齢に合わせて丁寧に対応し、一人ひとりにゆっくりと関わる事が出来た。月齢の高い子が自分より小さなお友だちの面倒を率先してみる姿も多く、泣いている子のそばに寄って頭をなでたり、玩具を渡すなど他児との関わり、言葉のやり取りを介して仲間意識が芽生えていた。互いに刺激され「自分で」とトイレに座る、衣服の着脱など少しずつ興味を示し、積極的に自ら行動することが増え、自分で出来たという喜びを感じ成長していく子ども達の姿を見るのが楽しい毎日だった。

<1歳児 ちゅうりっぷ組>

男の子9名 女の子4名 13人のクラス。約半数が新入園児であったが、すぐに園生活に慣れてくれ、そんな事を全く感じさせない程だった。お歌にダンス・製作・体を動かす遊び etc…と楽しいことが大好き。毎日がとてもにぎやかで笑いの絶えないクラスであった。とても社交的で実習生はもちろん、お話し会や散歩中に会う人たちともすぐにおしゃべりしたりと関わることを楽しんでた。お話しもとても上手で、日に日に言葉でのやり取りの幅が広がっていき見立てあそび・ごっこあそびが大好きだったり自然と歌を口ずさみ遊んでいることが多かった。また、クラスとしてのまとまりも早くから出来ていて様々な場面でお友だちと一緒にという事に喜びを感じている姿が見られた。食べることも大好きで給食もよく食べ、おかわりがないと足りない程であった。苦手な食べ物も自分で調節しながら食べることが出来るようになったり、友達と食べさせあったりし克服する子も多く、食事時間も「おいしいね〜」「これ何?」と食材にも興味を持ったりし会話も多くとても楽しい雰囲気だった。

子ども達それぞれの個性も豊かであったがまとまる部分も多くあったり、何に対してもよく反応し、応えてくれ、あつという間に一日が過ぎてしまうほど楽しい毎日だった。身の回りの事に興味を持ち自分で取り組んだり、友達の思いを理解していくようになってきたり…顔つきや体ももちろん、内面もたくさん成長した1年。とても頼もしい姿できらきら星を卒園していった。

<ワンデーナーサリー>

今まで利用していたご家庭が4月から幼稚園やほかの保育園へ入園する事が多くメンバーが変わり、予約の件数も減る。4・5月は保護者と初めて離れて過ごす子が多く泣いたり、食事を摂るのを嫌がっていたが利用を重ねるうちに徐々に慣れ、楽しそうに遊ぶ姿が見られるようになり常連の子ども達が増えた。子ども達自身も友だちの顔や名前を覚え、知っている友達がいると積極的にコミュニケーションをとり、一緒に遊ぶことを喜んでた。はぐくみ館に通園している子どもの利用も多く、泣き叫んだりする姿が見られたが、保育士がその子どもの好きな遊びを理解し、子ども自身も園での生活に少しずつ慣れてくれたことにより、以前は他児と一緒にいる事の出来なかった製作を行うことが出来たり、他児の遊んでいる様子が気になり真似をして一緒に遊ぶ姿も見られるようになった。常連で通っている子どもの保護者が友人に紹介してくれたこともあり、夏頃から予約の電話が殺到するなど利用人数も増えていった。秋頃からは常連の子どもがほとんどでクラスのように楽しく過ごせた1年だった。

<給食>

27年度は食物アレルギーをもつ園児が2名、その他にも一時保育で頻繁に食物アレルギーを持つ幼児が利用していた。園児のうち1名は今まで園児ではあまりいなかった種類の食物を原因とするアレルギーで、その食物も1つではなかった。

また、加工品なども除去する必要がある程のアレルギーだったので調味料や市販のお菓子などの成分をもう一度見直し、間違いのないように確認をしてみた。調理員だけでなく保育士にも把握してもらうため、調味料などの成分が書かれたものを一覧にして渡し、職員全員での周知を徹底した。

年間行事の際に提供する食事も食物アレルギーをもつ園児に合わせ、子ども達全員が同じものを食べられるように原因となるアレルギー物質を含まないようなメニューを考え提供していった。

8. 特別事業

(1) 一時保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
89	103	138	139	105	117	116	119	126	132	142	148

(2) 休日保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17	25	9	16	5	17	14	17	13	15	17	9

※27年度は一日を通しての長時間の利用者が多く、その中には保育園に入れず仕事での利用や幼稚園入園前の慣らし保育としての利用の家庭も多く見られた。夏頃からは毎月予約を入れる常連組が多くなり、子ども同士また保護者も顔見知りとなりクラスのようなまとまりを感じた。

夏を過ぎたあたりからは予約開始日に予約の電話が殺到し、1~2日で予約がほとんど埋まってしまう月が多かったが、家族の入院などの緊急時の利用には臨機応変に対応していくよう職員一同で心掛けた。

また、はぐくみ館に通っている子が集団生活に慣れさせたいとの保護者の希望で利用するなども増えてきた。

9. 行事

(1) 年間

行事	日時	場所
入園・進級	27年4月1日(水)	きらきら星
バースデー パーティー	① 27年6月27日(土) ② 9月12日(土) ③ 12月12日(土)	きらきら星 〃 〃
おはなし会	① 27年 6月15日(月) ② 27年 9月10日(木) ③ 27年12月4日(金) ④ 28年 3月10日(木)	きらきら星 〃 〃 〃
スポーツ フェスティバル	27年10月24日(土)	諏訪小学校 体育館
ミュージカル フェスティバル	28年2月27日(土)	はまゆう会館
卒園式	28年3月30日(水)	きらきら星

< Birthday party >

年に3回の誕生日会では“保育参観”をメインに行った。7月には七夕をテーマにし親子で短冊作りを行い笹の壁面に飾り付けをしたり、12月にはクリスマス製作としてくつ下やリース作りを行った。製作を行うことで家では見ることの出来ない子どもの姿に驚く保護者も沢山いた。また、初めての試みとして親子で手作りクッキー作りを行った。子ども達は日々の活動で粘土遊びを取り入れている事もあり抵抗なく行うことが出来、沢山のトッピングに喜んでいた。保護者からも家ではなかなか体験できない事ができ、良い経験となったとの話が聞けた。誕生児にはテーマに合わせた衣装を着てもらい、手形と写真で作った壁かけのプレゼントを用意し、みんなで楽しくお祝いすることが出来た。

< Sports Festival >

諏訪小の体育館を貸し切って運動会を行った。ハロウィンをテーマに可愛い仮装をしながら0・1歳児それぞれの発達過程にそった競技内容を考え、個人競技では親元を離れ一人で頑張る姿を見て成長を感じてもらい、親子競技では親子で協力し合い楽しんでもらった。兄弟の競技や全体での競技を用意し、少人数ならではのアットホームな雰囲気の中盛り上がり、子どもが主役の楽しい1

日となった。

<Musical Festival>

2月に行われているミュージカルフェスティバルは本園と合同ではまゆう会館の大きな舞台で行っていたが、26年度は別に園で行っていた。27年度にまた合同で行うようになった為、子ども達全員が初めての大舞台に立つ事となった。初めての場所に緊張しながらも、泣くこともなく楽しんで踊っていた子ども達の姿からは一年の成長を見ることの出来た素晴らしい1日となった。また本園と一緒に行ったことで保護者の方々にも0・1歳児だけではなく大きな子供たちの姿を見てもらうことも出来楽しんでもらえたのではないかと思う。

(2) 月間

発育測定	毎月 1 回 15日 (土日にあたる日は後日)
避難訓練	毎月 1回 20日 (土日にあたる日は後日)
内科検診	年 2回 (5月・11月)
歯科検診	年 1回 (6月)
ぎょう虫検査	年 1回 (5月)
職員会議	毎月 1回 他に昼・夕方会議

※年間・月間共に計画通り実施できた。

10・園外保育

児童図書館でのお話し会に参加 (ちゅうりっぷ組)

28年1月13日 (水)

2月17日 (水)

3月16日 (水)

※おはなしが大好きな子ども達。毎回図書館に行く日を楽しみにしていた。いつもとは違う場所、沢山の人の中でも大好きなおはなしや手遊びに夢中になり、園に戻ってくると一生懸命に見てきたことを伝えようと話してくれていた。中央には図書館だけでなく消防署・諏訪神社・三笠公園などたくさんのお散歩に適した場所があるため、今後もお散歩のコースに組み込みながら、0・1歳児らしい園外保育を考えていきたいと思う。

1 1 . 職員研修

日付	研修内容	場所	職員名
6月17日	保育における防災対策	横浜女子短大	臼井
6月27日	子どもの健康を守るために	横須賀厚生会館	臼井
9月15日	乳幼児のアレルギー対応	市役所	植田
10月2日	子育て支援新制度について	横浜女子短大	日下部
10月19日 20日	防火管理者講習	ヴェルクよこすか	臼井
11月2日	保護者から信頼される コミュニケーション	横浜女子短大	松永
12月10日	子どもの視力検査でわかること	はぐくみ館	大原
1月19日	施設職員研修会	セントラルホテル	日下部
1月30日	子どもにとっての絵本	小光子	長島
2月24日	調理員技術講習会	田浦コミュニティー センター	羽賀
3月7日	安心して住みよい地域社会の 実現に向けて	総合福祉会館	植田

※出来るだけ沢山の職員が様々な研修に参加し、研修で得たものを園に持ち帰り、他の職員へ伝え、共有し保育の向上に努めていった。

1 2 . 実習生及びボランティアの受け入れ状況

<保育実習>

横浜こども専門学校 保育科 1年生
27年10月20日～10月22日
28年2月22日～2月26日

<看護実習>

神奈川衛生学園専門学校 看護学科 2年生
28年1月25日～29日 5名
2月 8日～12日 4名
2月29日～ 4日 4名

<夏季保育実習>

緑ヶ丘女子高等学校 保育科・普通科

27年7月21日～25日 4名

8月 3日～ 8日 4名

8月10日～15日 4名

8月17日～22日 4名

<体験学習>

27年 5月27日～28日 神明中学校 3名

11月 4日～6日 常葉中学校 2名

11月10日～12日 大津中学校 2名

11月11日～12日 久里浜中学校 2名

11月10日～13日 馬堀中学校 2名

28年2月5日 諏訪小学校6年生 4名

※27年度は初めて看護学生の実習の受け入れを行った。保育士とは違う視点で実習を行う学生から保育に対しての新鮮な見方を知ることが出来た。また、ひとつひとつの子どもに対しての援助の意味や重要さに改めて気づくことの出来た貴重なものとなった。中高生の体験学生も含め、子ども達は人見知りかほとんどなく学生さんにすぐに心を開き、“お兄さん・お姉さん”と慕って一緒に過ごすことを楽しんでいた。

平成27年度 玉成保育園職員・園児の概況

1. 名称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 玉成保育園

2. 現住所 横須賀市三春町5-32

3. 定員 60名

4. 入園状況

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
48	125	136	144	179	156	788

(1年間総在籍数)

園長 廣田有希

副園長 渡辺昌代

副主任 長谷川由希

保育士 大津清香 青木友里 中庭あずみ 伊藤歩 竹内望 平賀朱理
藤ヶ森美沙 草間朱莉 添田阿似 實吉理絵 鈴木幸子

保育助手 大貫渚

調理員 松島裕子 小川多美子 石坂文代

看護師 田畑思真

音楽 栗原裕子

語学 ヒッポファミリークラブ

27年度 心地よい風が吹く中、入園、進級を迎え、また、子ども達の新しいステージがスタートした4月。

移りゆく季節と共に、毎日の園生活の中で成長していく子ども達。いろいろな場面で子どもの小さな胸にも多くの思い、感情が芽生えていく乳幼児期を、大切にしていくという思いを全職員が持ち続けること。

子ども達への対応、年齢に合わせた保育。集団と個々、どちらも考えていかれるよう、

職員自身も振り返りながら保育をしていった。

何かあった時は保護者と一緒に考え、思いを伝えあえる関係でありたいと、願ってきた。

いろいろある中で、それでも、根っこにあるものは、「きっと 大丈夫！」

「子ども達の持っている力を信じること」だと。今までも、これからも変わらないでいきたいと強く思う。

延長保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月
14名	17名	15名	13名	12名	14名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14名	12名	12名	9名	9名	9名

*健康診断

内科検診	5月15日	11月20日	高宮小児科
歯科検診	6月11日		谷歯科医院
ぎょう虫検査	5月		鈴木クリニック
職員健康診断	4月・5月		鈴木クリニック

*月間・年間行事

スポーツ フェスティバル	10月3日	山崎小学校
お泊り保育(年長児)	11月	三浦ふれあいの村
音楽会	12月5日	文化会館
ミュージカル フェスティバル	2月13日	はまゆう会館
保育参観	4月 7月 3月	
自由参観日	毎月1～2回	
お誕生日会	毎月	
卒園式	3月24日	

*職員研修

5月13日	幼保小教育懇談会
6月2日	1歳児保育研修
6月5日	学びの連続性を考える
6月11日	就学前教育と小学校の連携講座
6月24日	就学前教育と小学校の連携講座
6月25日	発達が気になる子の理解と支援のコツ
6月26日	4.5歳児保育研修
7月6日	子どもの生活リズムの乱れの実態と改善のための方策
7月8日	幼保小教育懇談会
7月24日	1歳児保育研修
10月30日	幼保合同研修
11月22日	養成校懇談会(横浜こども)
11月25日	保育実習懇談会(横浜女子)
11月26日	幼保小教育懇談会
1月29日	施設職員研修会
1月30日	研究発表会
2月3日	幼保小教育懇談会
3月22日	養成校懇談会(聖ヶ丘)

自由参観日

毎月2回、10時～14時の間、自由に子ども達の様子やクラス別保育を見て頂く事を目的としている自由参観日。

親子で参加する保育参観とは違い、普段の園生活や保育の様子を見て、家庭と園での相違点なども見ることが出来たり、成長を感じることが出来たなどの感想も聞かせて頂いた。

乳児クラスでは、食事面を気にされている方も多く、食事の量や離乳食の進め方

など、様子を見ながら保育士と園での様子を聞いたりされていた。

幼児クラスでは、集団生活においての、子ども達の様子や活動状況、また、友達同士の関わり合いなども見てもらえる場となっていた。

保育参観

27年度は年3回行われた。

1回目は、入園、進級おめでとう！これから楽しく過ごそうね。との思いを込め

新しいクラスでの初めての保育参観。クラスの様子も保護者に見てもらおう。

2回目は、保育園内でいろいろなお店を回り遊んだり、食事をしたりして楽しんだ夏祭り。先生たちがお店屋さん。みんなは、チケットを持ってあっちのお店

こっちのお店へと大忙し。親子で楽しいひと時を過ごして頂いた。

3回目は、3月の学期末。1回目の参観から1年たった子供たちの姿から、たくさん成長見ることが出来、保護者も保育士も「大きくなったなあ～」と実感。

クラス懇談会

今年度は、年に2回実地された。(6月・3月)

どのクラスも各ご家庭での子ども達の様子を話してもらったり

また、園での子ども達全体の様子、活動、日頃のちょっとした笑い話 e t c . . .

保育士から保護者へも伝える。

日頃会えない保護者同士も情報交換の場となり、子育ての思いを共感したり

一緒に考えたりする機会にもなっている様でもある。

毎回、出席率も良く、どのクラスも、とても良い雰囲気で行われている。

個人面談

まつ組から順に個人面談の希望を随時受け付ける。

懇談会のように全体で話をするのとは別に、担任と保護者が個々の園の様子や

家庭で心配している事など、実際はどうなのか、ゆっくり話をして安心して

もらったり、何か問題があれば解決の糸口を見い出せればと園としても考えて

いる。今後も各クラス実地していきたいと思う。

給食

給食室での調理だけでは食事の様子もなかなか分からない事もあるが、

日々の残食や検食簿の残食状況を見たり、保育士たちとの会話の中で情報を

交換、共有してきた。追加メニューは、色どりを心掛け、食欲がわいたり

自然と栄養バランスの整う物を考えるようにした。
アレルギー食に関しては、保護者と共にチェック表を基に提供してきた。
今後も慎重に対応していきたいと思う。

スポーツ フェスティバル

10月3日 山崎小学校のグラウンドにて開催。
秋晴れの空の下、子ども達はミッキーチーム、ドナルドチームに分かれて優勝目指して頑張った。
クラス競技、親子競技、異年齢競技など、年齢に合わせた内容、また競技制のあるものを取り入れた。
各チーム応援にも力を入れ、応援歌を作りまつ組を中心に当日を迎えるまで日々取り組んだ。
幼児クラスでは、近くの公園で競技の練習をし、当日までのモチベーションを高めていた状況もあってか、勝敗にもこだわり、喜んだり悔しがったり、中には
涙する子ども・・・
保護者の協力もあり、例年通り保護者競技もとても盛り上がった。
毎日の生活の中で、ひとつの目的に向かって心も体も大きく成長した子ども達。
当日は、笑顔の絶えない素敵な1日となった。

音楽会

今年度は、12月の季節にちなんだ選曲をし、クリスマス一色となった。
乳児クラスでは、毎日の練習がクリスマス気分で楽しく行うことが出来、練習以外の時でも、思わず鼻歌を歌っている子ども達の姿はとても微笑ましく思えた。
幼児クラスでは、楽しい事にプラスされ、毎日練習を継続することで、少しずつ
出来るようになっていく喜び。みんなで合わせるという目的を理解しクラス全

体の団結と、個々の自身へと繋がっていったと思う。

当日、文化会館の中ホールは、頑張っている子ども達、ステージに上がっている我が子を身近に見て微笑んでいる保護者、保育士、みんなが心地よい気持ちになる空間となった。

ミュージカル フェスティバル

園行事の大きなイベントの最後となるミュージカルフェスティバル。

2月13日はまゆう会館で開催された。

子ども達は、毎日練習を重ね、取り組んだ成果を発揮させる大舞台。

本番では、緊張しながらもステージに立ち、一人一人がそれぞれに頑張っている

姿はとても輝いていた。

園内での季節行事

- | | |
|-----|------------|
| 5月 | こいのぼり集会 |
| 7月 | 七夕集会 |
| 10月 | ハロウィンパーティー |
| 12月 | クリスマス会 |
| 2月 | 豆まき集会 |
| 3月 | ひな祭り会 |
| | まつぐみお別れ会 |

*お誕生日会は毎月開催

どの行事も子ども達は楽しく参加していた。

ひよこ組 (0歳児)

入園、退園の入れ替わりが多い年であったが、その状況に生活リズムが崩れることなく日々を過ごしていた。

4月当初は人見知りも多く、母乳のみという事もあり、園での授乳に慣れずなかなか進まない時期もあった。兄弟園児がいることの安心感もあり、授乳も人見知りもだんだんと解消された。

クラス単独ではなく、1歳児、2歳児とコミュニケーションをとる時間を増やした事で、刺激になり色々な経験を自然と前向きに取り組む姿勢が見られた。また、行事前の練習ではとても積極的に参加し、行事を終えるごとに成長をかんじることが出来た。

ちゅうりっぷ組 (1歳児)

新入園児は保護者と離れる際は涙する場面が見られたが、時間と共に落ち着いてくると、園生活にもなれ、保育士の顔を覚えた事で笑顔も増え遊びの輪に入る様になった。

園外活動を多く取り入れた事で、季節の移り変わりを肌で感じ、指をさして色々なものに共感し会話を楽しむ姿が多く見られた。また、戸外で身体を動かした事で体力がつき、食欲も出てきて、昼食中に寝てしまう子達も徐々に減り完食してお昼寝出来る様になった。

クラスが上がる頃には、言葉もはっきりし自分の思いを伝えたり、保育士の話しを理解し行動出来るようになってきた。

いちご組 (2歳児)

新入園児も最初は不安な様子も見受けられたが、友達ともすぐに仲良くなり、園生活も次第に慣れてきた。

全体的に「自分で…」という意欲のある子が多く何事にも一生懸命取り組む姿が見られた。特にトイレトレーニングでは友達とトイレへ行く事を楽しみながら、トイレットペーパーの使い方や適量も覚えた。尿意も徐々に分かる様になり、保育士に伝え排泄に向かう事が出来る様になった。

進級時には会話ができる子がほとんどで、友達同士で会話を楽しむ姿が見られる反面、思う様に気持ちを伝えることが難しくトラブルが起き手が出てしまう事もあった。気持ちを理解し仲裁に入るなどして配慮しながらも、トラブルにならない解決策(貸して…一緒にやろう…etc)も教えていった。

簡単なルールのある遊び(おにごっこetc)や、ゲームも初めは、自分の感情があふれ、悔し泣きや、勝手なルール変更などをしてしまう事もあったが、繰り返すことで、みんなでルールを守る大切さや楽しさが分かってきた。

行事を通して大きな成長が見られた。

ばら組 (3歳児)

進級した際は、2階での生活に不安よりも喜びの方が大きく、笑顔でスタートする事が出来た。

初めての事も多く、ハサミの経験は家庭で経験している子が多かったので保育の中でスムーズに取り組むことが出来た。製作を好む子が多く無理なく楽しんで行い、個性も豊かでそれぞれの作品を見て会話を楽しむ姿も見られた。

食事のあとの歯磨きの習慣がはじまり、歯磨きが楽しみのひとつになり、食事を完食しようと頑張る様子が見られた。

午睡では、後半から寝る日を減らしていったが、はじめは眠そうにしていた子もいた。徐々に慣れ午睡のない日は喜んで午後の活動に取り組んでいた。

ルールのある遊びやゲームなどの幅が広がり勝ち負けにこだわったり、同じチームを応援するなどの意識も出てきた。

ほし組 (4歳児)

進級するにあたり生活する場は変わらないものの、新入園児が入って来ることにより新鮮な雰囲気が出来た。

遊びのグループでも男の子、女の子に分かれる事が多くなり、大きなトラブルはないものの友達の輪の中に入れていないなどの相談はよくあり、その都度対処、対応をしてきた。

行事では、練習の時からやる気を持ってのぞみ、本番でも達成感を味わい、一段と成長した姿が見られた。

ワークも始まり文字にも挑戦する事で、製作の幅が広がったり、子ども同士の手紙交換が行われる様になった。読み書きが少しずつ出来る様になってくる事で、歌詞や絵本を読めるようになり、自分の名前を書くことを楽しむようになった。

年長児と関わる事が多くなった事で新しい遊びをたくさん覚え、遊びの幅が広がった。

1年間を通して沢山の経験や体験をする事により、大きな成長を実感することが出来た。

まつ組 (5歳児)

年長児クラスになり、新しい部屋で生活が始まりとても喜ぶ姿が見られた。初めての絵の具セットやよいこの学習などの新教材をととても喜んで取り組み、毎月楽しみにしていた。

製作では、難しいとにも挑戦する姿が見られ、諦めずに取り組み完成させる事が出来た。

公共の交通機関(バス)を利用し、観音崎博物館に行った。公共の場でのルールを学び、生き物を実際に見て、触れて、鳴き声や大きさを知った。また、電車に乗りみかん狩りにも行った。ミカンの取り方を習い、自分で取って食べたミカンはとても美味しく感じたようであった。園内では経験出来ない、五感を使って様々な体験を実際にする事で新たな発見や想像力につながった貴重な経験となった。

遊びのなかでのトラブルでは、話し合いで解決出来るように促していった。

1年を通し様々な経験をし、感じ、表現をする中で沢山の成長が見られた。

